

① 日本から来ました下本節子です。

1954年3月～5月までアメリカによる6回のビキニ水爆実験で被災した高知県の漁船員や遺族が日本政府に補償を求める裁判をしています。私は原告団長を務めています。

② 第五福竜丸が被ばくしたことは皆さんご存知だと思います。

第五福竜丸が命がけで日本に帰ってきてから日本中大騒ぎになりました。

当時、太平洋海域で放射能汚染魚を廃棄させられた日本漁船はのべ1000隻とされています

放射性降下物は日本・フィリピン・メキシコなど北半球を中心に地球規模で広がり、アメリカ中西部には日本の5倍も降っています。3月～5月の水爆実験6回の威力は広島型原爆の3220倍にもなります。想像してみてください。これは広島型原爆を8年以上毎日爆発させていることとなります。

③ 2ヶ月後の5月、世界で初めて海洋汚染を調べるために日本の科学者を乗せた調査船「俊鷗丸」が出港しました。調査によって、海洋では密度の違う水のモザイクが存在していて水平方向にも上下方向にも簡単には混じり合わないことが分かりました。海の汚染は海流によって少しずつ広がっていくのです。もう一つ、プランクトンから始まり食物連鎖で濃縮していくことも判明しました。

④ 9月には通信士久保山愛吉さんが放射能症でなくなり、日本中に大きな反核運動がわき起こりました。核実験反対の署名が3200万筆も集まりました。

アメリカは反核運動を鎮めるため、日本政府と交渉を行い、200万ドルの見舞金を出すことで政治決着しました。

12月末には、魚の検査は打ち切られ第五福竜丸以外の漁船員たちは、検査されることもなく、すべて終わった事にされました。

⑤ では何故高知では「ビキニ被ばく船員」が裁判をしているのかというと、1980年代高校生たちの自主サークル「幡多高校生ゼミナール」が発足しました。長崎の原爆と太平洋の核実験で二重被ばくして病気になり27才で自殺した藤井節弥さんや、水産高校の実習船で5月に発航して体調を崩し12月に20才で亡くなった谷脇正康さんの事を知りました。

日米政治決着で、なかったことにされたビキニ事件を、高知の船員たちが、30年以上たって高校生たちに語り始めたのです。沢山の漁船員が血液の病気や癌などで若くして亡くなっていました。

⑥ 国賠訴訟の原告団長だった故増本和馬さんは、次から次へと病気になるのが不思議だったのですが、船員保険の請求申請のニュースで 18才の時働いていたマグロ漁船が魚を廃棄したことを思い出したそうです。病気の原因が被ばくだったことに納得すると同時に「自分たちは国に棄てられたのか」と怒っていました。

⑦ 2013年頃、テレビ局が高知のビキニ被災をドキュメント番組で取材し、米国の外務省から、当時の検査データなどを記載した文書が見つかりました。また広島大の研究者チームが船員の血液や歯から被ばく線量を推定して科学的な裏付けがされました。

⑧ そして2016年船員と遺族が船員保険（船員の労災）の請求申請と国賠訴訟に立ち上がりました。私たち日本人は被ばくというと広島長崎の熱線に焼かれた場面が思い浮かぶのですが、高知の漁船員たちは、放射性降下物で汚染した雨や海水や魚が体の中に入って放射線を出し続ける「内部ひばく」です。人によって発病する時期や症状は違います。何年後かに病気になっても原因の証明は困難です。

⑨船員の船の上での生活は、スコールをシャワー代わりに浴び、水は貴重なので、米は海水で洗って炊く時だけ真水を使います。雨も海水も汚染していました。魚の内臓も食べます。

しかし、今でも日本政府は船員の被ばくを認めません。

⑩昨年3月、私マーシャルの首都マジュロに行って、核被害者追悼デーに参加しました。マーシャルでアメリカの核実験がどんなにひどいものかを実感しました。ロングラップから移住している女性とも話をすることが出来ました。「ネズミよりは人間に近い。貴重なデータだ」とモルモットのように人体実験されて、島に住めなくなったロングラップの人たち。

「米国は自分たちを人間と思っていない。低く見ている。馬鹿者扱い。人生を狂わされた。安全に暮らせるようにしてほしい」と聞いたとき、私も悔しい気持ちが湧きあがってきました。

⑪昨年、被団協がノーベル平和賞を受賞したことは大きな励みです。

⑫広島・長崎・ビキニ・原発事故と、被ばくの危険を誰よりも知っている日本政府は

【ビキニ被災船員や広島・ナガサキの「黒い雨」被爆者は未解決の政治課題であることを認め、早急に「核禁条約」を批准してください。】

日本政府は70年前、アメリカと政治決着して、被ばくした漁船員を切り捨てたことを認め
原発事故による被害も含め

【これ以上被ばく者をふやさないでください】

**【被ばく国として、核の加害国であるアメリカに対しても「核禁条約への参加」を呼びかけ
「第6条・被害者に対する援助及び環境の修復」を求めて下さい】**

⑬ここに参加されている皆さんには

なぜビキニ被災事件が政治決着され、第五福竜丸事件に矮小され、その他の被災船員が放置されたのかを明らかにしてほしい。「キャッスル作戦」での6回の核威力はヒロシマ原爆の3220倍、放射性降下物は地球規模の汚染をもたれたことを解明し、世界の核実験被災者救済に生かしてほしいです。

「ビキニ被ばく船員訴訟」原告の私たちもその一翼を担っていると自負しています。

応援よろしくをお願いします。